

平成31年・令和元年度 学校経営計画

白山市立鳥越中学校

校長 久司 由利子

1 経営理念

学校は、未来を明るく切り拓く子供たちのためにある。そのためにも小規模校の利点を生かした一人ひとりの生徒にきめ細かな教育活動を展開する。教職員が、互いの良さを認め高め合う教育活動を進めることで、生徒たちに社会に対して自立し貢献できる資質能力を育てたい。

2 教育目標 「豊かな心と向上心にあふれる生徒の育成」－自立 貢献－

3 学校経営目標

(1) 学校の現状

- ① 素直な生徒が多く、生活習慣も比較的整っている。しかし、切磋琢磨が少なく、つきたい力を明確にして積極的な教育活動を行う必要がある。
- ② 保護者は地元の卒業生が多く学校教育に熱心であり、関心も高い。地域の願いにそった開かれた学校づくりが必要である。
- ③ 現在、大きな生徒指導問題は顕在化していない。しかし、固定した人間関係ネット環境の普及などもありいじめ等の問題についての未然防止、早期対応を推進する必要がある。

(2) 生徒に関する目標（めざす生徒像）

- ① 自ら進んで学習する生徒
- ② お互いの良さを認め高め合う生徒
- ③ 心と体を鍛える生徒
- ④ ふるさとに誇りを持つ生徒

(3) 教職員・学校組織等の望ましい在り方

- ① 教職員は地域を愛し、教育に対し情熱と使命感を持ち専門的力量と見識を備えた、**信頼**される公教育従事者をめざし、教育目標の実現に向けて努力する。
- ② 教職員は教育活動全般にわたり、共通理解、共通実践の浸透を図る。R G-P D C Aサイクルを活用し、全員が「そろえる」「やりきる」「たしかめる」に努め、「**チーム鳥越中**」をめざす。
- ③ 仕事の**効率化**、業務見直しにより多忙化解消を図る。教職員のワークライフバランスを推進する。

4 今年度の重点目標

(1) 生きる力につながる学力をつける

- ①鳥越中授業スタイル（「見通し・振り返る」学習活動と、深い思考を促す工夫）を全員で取り組む。
- ②規律を大切にしつつ、自分の意見を言葉で表す機会を持たせる授業づくりに心がける。
- ③家庭学習の習慣化を図る。（ガリガリノートを活用した予習・復習の充実）
- ④キャリア教育を充実し、夢や目標を持たせ意欲的に学ぶ生徒を育てる。

(2) 自分の良さ、まわり（人、環境）の良さを認めることができる豊かな心を育てる

- ①進んであいさつを行い、良い人間関係を育む。
- ②生徒理解につとめ、生徒の良い行いや長所を、タイミングを逃さず褒める・認める・励ます。
- ③特別の教科道徳を中心とし、教科や行事、地域も活用した道徳教育の充実に努める。
- ④いじめ、不登校への未然防止策を進め、問題が起きた場合はチームで対応し、安心な学校づくりに努める。

(3) 組織的な学校運営

- ①主任を中心に、チーム鳥越中として対話を大切に運営していく。
- ②仕事を計画的、効率的に行い、自身のワークライフバランスを意識する。